

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第1巻第16号

第29週(7月16日～7月22日)

発行年月日:平成13年(2001年)7月30日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (29週)	累積報告数 (1週～29週)
1類感染症	報告なし	-	-
2類感染症	細菌性赤痢	0	2
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	24
4類感染症	アメーバ赤痢	0	3
	急性ウイルス性肝炎	0	2
	後天性免疫不全症候群	0	3
	ジアルジア症	0	1
	梅毒	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	29週	増減	23～28週の平均
インフルエンザ	0		0
咽頭結膜熱	0.94		1.00
A群溶連菌咽頭炎	0.27		0.46
感染性胃腸炎	0.60		1.32
水痘	0.71		1.15
手足口病	0.42		0.31
伝染性紅斑	0.21		0.25
突発性発疹	0.33		0.33
百日咳	0		0.01
風疹	0		0.02
ヘルパンギーナ	3.96		2.72
麻疹	0.06		0.19
流行性耳下腺炎	0.94		0.97
急性出血性結膜炎	0		0
流行性角結膜炎	0.43		0.52
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0.02
無菌性髄膜炎	0		0.14
マイコプラズマ肺炎	0.14		0.26
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、23週～28週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

* **太字**は、今週の注目される疾患です。

3) 今週のトピックス

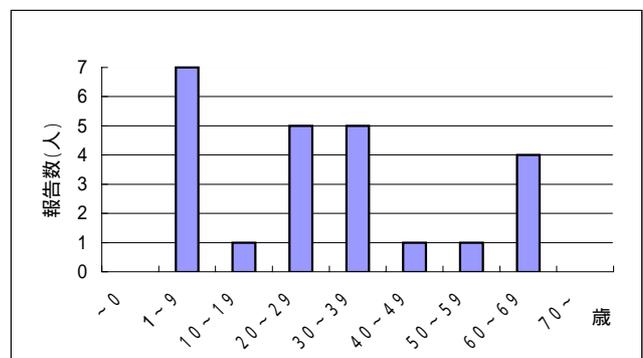
患者情報

滋賀県における定点当たり患者数について、23～28週の平均と29週を比較すると、手足口病とヘルパンギーナに増加傾向が見られます。また、咽頭結膜熱、水痘、手足口病の報告数は前週(第28週)よりも増加しています(2～3ページのグラフ参照)。

病原体情報

全国における2001年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数(2001年7月13日現在報告分)は、O157が212件およびO26が42件報告されています(iDWR2001年第3巻第27号より)。また、滋賀県における2001年の報告件数は、O157が23件およびO63が1件です(2001年7月22日現在)。

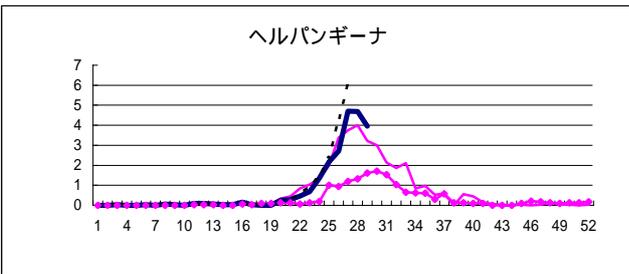
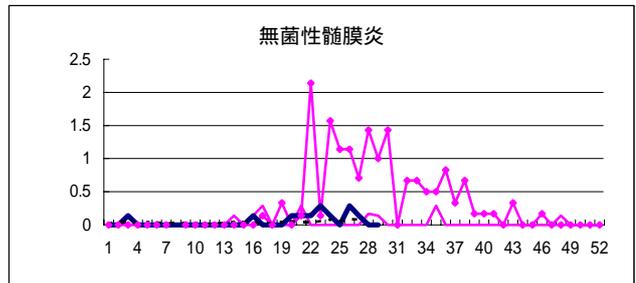
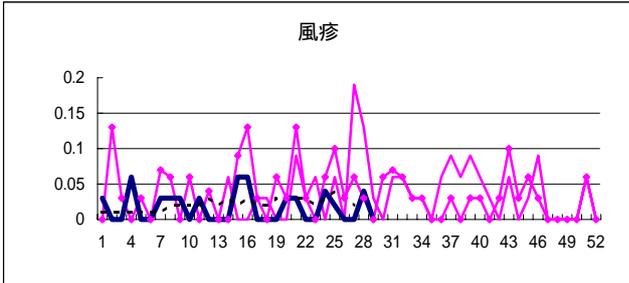
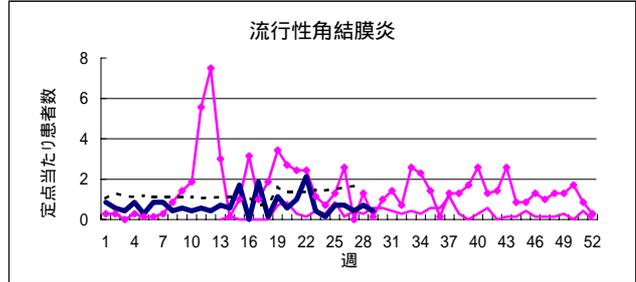
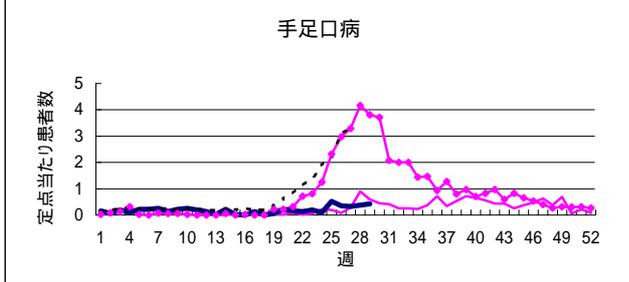
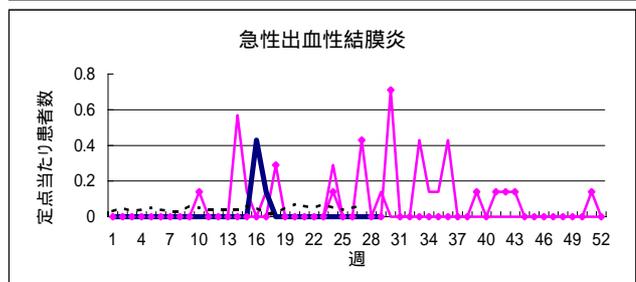
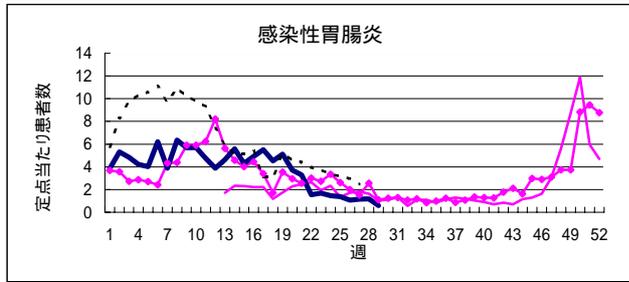
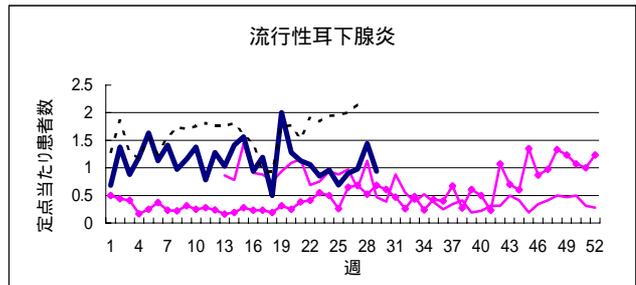
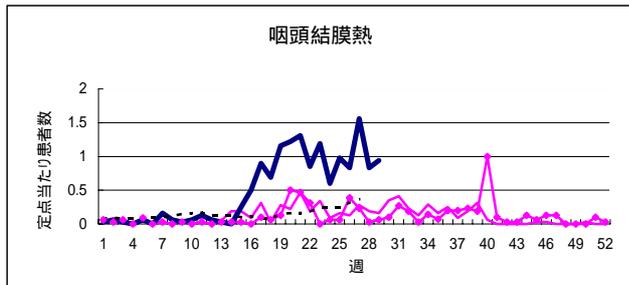
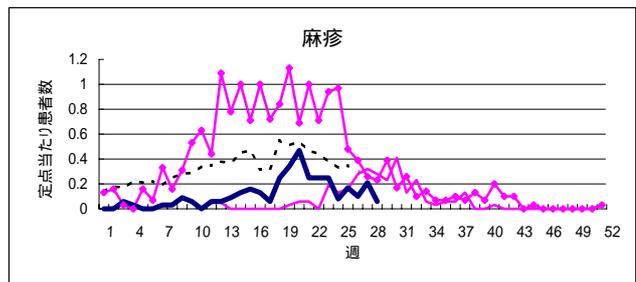
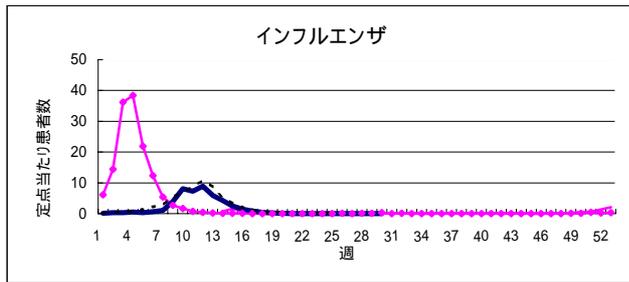
腸管出血性大腸菌感染症の年齢分布(滋賀県)
(2001.1～2001.7.22)



全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。

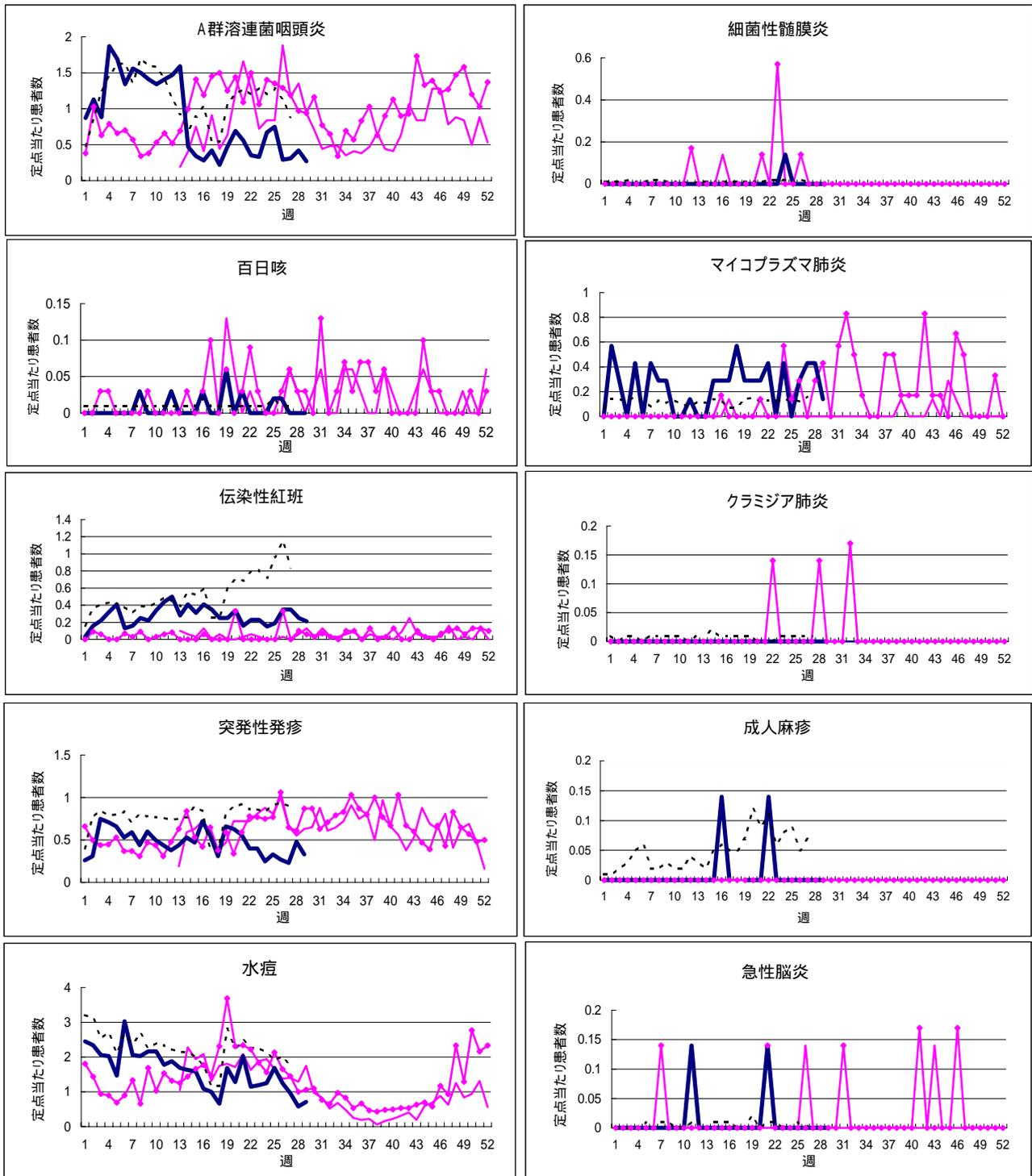
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第29週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●————●
 H13 —————
 全国 { H13 - - - - -

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第29週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●————●
 H13 —————
 全国 { H13 - - - - -